

定例会議の開催状況

第1 開催日時

令和6年10月17日（木） 午後0時45分～午後3時

第2 開催場所

公安委員会室

第3 出席者

1 公安委員会

上枝委員長、岡委員、大石委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、首席監察官、情報通信部長、地域監、警備部統括参事官兼公安課長、公安委員会補佐官

3 陪席

総務課長

第4 議題事項

香川県警察関係手数料条例の一部改正について

県警察から、道路交通法施行令の一部を改正する政令が施行されることに伴い、香川県警察関係手数料条例の一部を改正する旨の説明があり、審議の上了承した。

委員から、「マイナンバーカードと運転免許証の一体化に伴い、オンライン更新時講習を受講できるようになるとのことであるが、県民の利便性が増す一方で、何らかのトラブル発生も懸念される。不測の事態にも迅速に対応できるように準備を進めていただきたい」旨の発言があった。

第5 報告事項

1 県政モニターアンケート「治安に対する意識調査」の実施結果について

県警察から、令和6年7月に実施した県政モニターアンケート「治安に対する意識調査」の結果について報告があった。

委員から、「来日外国人による犯罪について報道等で見かけることもあるが、今後、労働人口の減少に伴い外国人労働者が増加する状況になると思われる。こういった外国人労働者が県民と良好な関係を築くこと

ができないと、様々な問題が発生するおそれがあると思うので、その関係構築を上手く行うことが必要であると思う」、「アンケートの「昨年と比較して、現在の香川県の治安はどうなったと思いますか」という質問に対し、「どちらともいえない（変わらない）」と答えた人が 71.4%という結果になっているが、刑法犯認知件数が増加している中で、この数値は体感治安を考えるうえで非常に興味深く感じた。また、増加している SNS 型投資詐欺等を不安に感じる事として選択した方が 3 割程度に留まっていることから、積極的に広報するなど、注意を促していただきたい」旨の発言があった。また、県警察から、「アンケートの「犯罪の起きにくい社会づくりのために、特に重要なものは何だと思いますか」という質問に対し、「防犯カメラなど機器の設置」に続き、「個人の防犯意識の高揚」と答えた方が 62.6%と 2 番目に多い結果となった。これだけ多くの県民の方が個人レベルでの防犯意識の重要性を認識して頂いていることは大変有難いことであり、県警察として、こういった県民の意識にお応えできる情報発信について、引き続き、工夫等していきたいと考えている」旨の説明があった。

2 令和 6 年度警察・消防殉職者協力殉難者合同慰霊祭の開催について

県警察から、11 月 1 日（金）、県庁ホールにおいて警察協会及び消防協会の共催による令和 6 年度警察・消防殉職者協力殉難者合同慰霊祭を開催する旨の報告があった。

委員から、「殉職・殉難は、絶対に無くさないといけないことだと思う。平成 12 年以降、県内で殉職者・殉難者が出ていないのは、県警察がしっかり対策等に取り組んでいる成果だと思う」旨の発言があり、県警察から、「県警察では、各種の事故事案現場に臨場する際には、事案の内容に応じて、その都度、リマインドも兼ねて、通信司令から受傷事故防止の注意喚起を行うようにしている。職員の受傷事故防止については、引き続き、県警察全体でしっかりと取り組んでいく」旨の説明があった。

3 令和 6 年第 3 四半期における贈与等の報告について

県警察から、香川県職員倫理条例に基づく令和 6 年第 3 四半期（7～9 月）の贈与等報告書の提出があった旨の報告があった。

委員から、「県警察が事業者等から贈与等を受けた際には、条例や規則に基づき適正に対応し、また、公安委員会に対しても、きちんと報告して頂いている。引き続き、県民から誤解を招くようなことがないようにお願いしたい」旨の発言があった。

4 令和6年香川県警察定例表彰式の実施について

県警察から、令和6年における警察協力者、駐在所家族及び優秀警察職員等に対する定例表彰式を挙げる旨の報告があった。

委員から、「警察協力者の方には、長きにわたり県警察の活動に協力していただき感謝申し上げる」旨の発言があった。

5 第50回衆議院議員総選挙違反取締本部の設置について

県警察から、10月9日衆議院の解散を受け、翌10日、警察本部及び県下12警察署に第50回衆議院議員総選挙違反取締本部を設置した旨の報告があった。

委員から、「引き続き、クリーンな選挙となるよう、違反取締りを願う」、「急な選挙で準備も大変だったと思うが、法の下で厳正公平な選挙が行われるように、県警察として、適切に対応していただきたい」旨の発言があり、県警察から、「選挙違反取締りのほか、一昨年に発生した安倍元総理への銃撃事件や昨年4月に発生した岸田前総理への爆発物投てき事件、今年7月にアメリカで発生したトランプ前大統領への銃撃事件なども踏まえ、要人警護についても、これまで以上に警戒を高め、必要があると考えている。今後、警護対象者の来県が見込まれていることから、厳正公平な選挙違反取締りに併せて、要人警護にも万全を期していく」旨の説明があった。

6 警衛の実施について

県警察から、警衛の実施について報告があった。

第6 決裁

1 苦情受理報告について

2 公安委員会定例会議会議録の作成及び公表について

(令和6年9月5日、同月12日、同月19日開催分)

3 公安委員会臨時会議会議録(電話会議)

(令和6年10月15日開催分)

4 自民党総裁来県に伴う警察職員等の援助要求について

5 保有個人情報開示請求書の受理について

第7 その他

1 機動警察通信隊員の派遣について

県警察から、大分県における「第43回全国豊かな海づくり大会」行幸警衛に伴い、令和6年11月5日(火)から同12日(火)までの間、情報通信部から機動警察通信隊員を派遣予定である旨の報告があった。

委員から、「派遣される職員は、これからの仕事に活かせるように、様々なことを学んできてもらいたい」旨の発言があった。

2 警察職員等の援助要求について

県警察から、10月15日（火）に、電話会議でご承認いただき、他都府県公安委員会に対して行った警察職員等の援助要求に係る警護については、無事に完遂した旨の報告があった。

3 衆議院議員総選挙への対応を含めた当面の課題について

県警察から、「当面は衆議院議員総選挙に関する業務が県警察の大きな課題であり、違反取締りや警護活動に重点的に取り組むことになるが、県民の日常生活の安全など、選挙には関係のない通常の警察活動についても遺漏のないように的確に執り行っていくことが大切だと考えている。そういった点も含めて、選挙期間中は、選挙違反取締りやその他の平素から行っている各種警察活動に組織を挙げて取り組み、県内の治安を確保していきたいと考えている」旨の説明があった。

4 地域警察運営規則（国家公安委員会規則）の改正概要について

県警察から、人口動態の推移や警察事象の変化に即した地域警察の柔軟な運用が可能となるよう地域警察運営規則が改正された旨の報告があった。

5 令和6年全国地域安全運動に伴う啓発動画の視聴について

県警察から、全国地域安全運動にあわせ穴吹デザインカレッジが高松北警察署と協同で制作した高齢者用万引き防止啓発動画について説明があり、同動画を視聴した。

6 運転免許の取消し等の審議について

県警察から、運転免許の取消し等に係る意見の聴取等について報告があり、審議の上、処分内容を決定した。

7 行政処分の状況について

県警察から、令和6年8月及び9月分の運転免許に係る行政処分の状況について報告があった。